

番 号	18請願第5号 (即 決)
受理年月日	平成18年12月5日
件 名	療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求めることについて
提 出 者	三鷹社会保障推進協議会 会長 三瓶 和義
紹 介 議 員	高谷真一郎、森 徹
要 旨	
<p>〔請願の趣旨〕</p> <p>さきの国会で成立した医療「改革」法には、入所介護や入院を担っている38万床の療養病床（介護療養病床13万床、医療療養病床25万床）を大幅に削減し、2011年度までに介護療養病床は廃止、医療療養病床は15万床にする療養病床の再編が盛り込まれました。</p> <p>政府は、削減する23万床で療養している人々を介護施設や在宅に移すと言っていますが、現在、特別養護老人ホームの待機者は全国で38万人を超えています。</p> <p>既に7月1日から廃止・削減計画が始まり、退所者が生まれています。このままでは、多数の「介護難民」、「療養難民」を生み出すこととなります。</p> <p>また、法律には、高齢者の患者負担を大幅に引き上げることも含まれています。</p> <p>高齢化の進行とともに、今後、単身高齢者や高齢者世帯の増加が予想されます。療養病床の廃止・削減や高齢者の患者負担増を直ちに中止し、医療・介護の環境整備・拡充を求めます。</p> <p>〔請願項目〕</p> <p>国に対し、以下の意見書を提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者が地域で安心して療養できる施設やベッドをなくさないこと。 2 高齢者の患者負担をこれ以上ふやさないこと。 3 リハビリの日数制限を撤廃し、個々の患者の必要性に応じて行うこと。 <p style="text-align: right;">以上</p>	